

第12回 全国若者・ひきこもり in 東京  
**協同実践交流会**

生きづらさに抗して、ともに生きる社会をつくる

**大会趣旨** ひきこもりをはじめとする若者支援に関わる個人や団体が、交流と学びあいを通して実践力とネットワークを育てていくために、全国各地で実践交流会が開催されてきました。昨年度の福島に続き今年度は12回目を迎えています。

これまで実行委員会を通して、若者の生きづらさの背景には、教育・医療・家族・就労・貧困問題などが複合化して存在しており、社会そのものが若者にとって生きづらいものになっていることを明らかにしてきました。今後、若者が生きやすく働きやすい社会をつくっていくにはどのような取り組みが必要なのか、さまざまな立場・分野を越えて各地の実践を交流し議論していく必要があると考えています。

今年度の東京大会は、文字通り、若者をめぐる課題を総合的に議論するテーブルづくりが目指されます。

—— 東京大会実行委員長 **太田 政男** (大東文化大学)

スケジュール

4日(1日目)

12:00	開場・受付開始
13:00	開会あいさつ・基調報告
13:50	全体シンポジウム
15:30	休憩
16:00	テーマ別分科会 I
18:00	終了

(別途、懇親会 検討中)

5日(2日目)

8:30	受付開始
9:30	テーマ別分科会 II
11:30	昼休憩
12:30	テーマ別分科会 III
14:30	休憩
14:45	終わりのつどい
15:30	終了

(別途、後夜祭 準備中)

この他にも、テーマ別分科会と並行してロビー企画(仮称)などを計画中です。スケジュール詳細はHPに随時更新していきます。

会場案内

駒澤大学 駒沢キャンパス  
 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1  
 東急田園都市線「駒沢大学」駅より徒歩約10分  
 (「駒沢大学」駅まで「渋谷」駅より約7分 正門からお入りください)



第12回 全国若者・ひきこもり  
**協同実践交流会**

**in 東京**

生きづらさに抗して、ともに生きる社会をつくる

**i** 申し込みについて

ご参加には申し込みが必要です。メール、FAX、Webでの申し込み方法を準備しています。準備ができ次第、大会ホームページに掲載します。

大会ホームページアドレス  
<http://www.jycforum.org/>



問い合わせ・連絡先  
 現地事務局 (NPO 法人教育サポートセンター NIRE 内)  
 〒142-0053 東京都品川区中延 5-6-14-2F  
 Tel 090-1763-4947 (問い合わせ用)  
 Fax 03-3784-5609  
 Mail tky.wakamono@gmail.com

全国事務局  
 (NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター 月形事業所内)  
 〒061-0051 北海道札幌市月形町字木町 8 番地  
 Mail info@jycforum.org  
 HP <http://www.jycforum.org/>

2017 **3.4** SAT 13:00 - 18:00 - **5** SUN 9:30 - 15:30  
**in 駒澤大学 駒沢キャンパス**

**参加費** 一般 ¥3,000 / 学生・若者 ¥1,000  
 事前申し込み・お支払いをお願いします。2月20日締め切りです。

主催 若者支援全国協同連絡会 (JYC フォーラム)  
 全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in 東京現地実行委員会  
 後援 東京都 東京都社会福祉協議会

<http://www.jycforum.org/>

## テーマ別 分科会

8つのカテゴリーを置き、14のテーマ別分科会を設けています。それぞれのテーマごとに2日間にわたって実践報告や議論を展開していきます。また、カテゴリーごとに基調講演やシンポジウムなどを企画しています。

## ともにはたらく

職場と若者がともに「より良いはたらき方」を模索する実践から課題を共有し、その解決策を探ります。

基調講演 駒宮 博男  
(NPO法人地域共生観研/岐阜)

### 分科会5 「しごと」づくり

自然と共生し、社会資源の活用を通じた地域づくりにおいて新しい仕事が生み出されています。こうした働きがいのある人間らしい仕事の実践から、ともに生きる人と人の関係を結びなおすためのヒントを探ります。

コーディネーター  
古村 伸宏  
(労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会/東京)

コメンテーター  
大高 研道  
(東京理科大学)

### 分科会6 ともにはたらく職場へ

企業・事業所が若者を受け入れる取り組みが広がり、そのネットワークをつくる試みも始まっています。企業と若者をつなぐ上での課題を明らかにし、若者を受け入れる企業の方々とともに解決策を考えます。

コーディネーター  
橋本 光生  
(わかもの就労ネットワーク/東京)

コメンテーター  
高橋 薫  
(NPO法人文化学習協同ネットワーク/東京)

コメンテーター  
小杉 礼子  
(独立行政法人労働政策研究・研修機構)

## 多様な 「居場所」をつなぐ

### 分科会1 支援者の想い/若者のニーズ

この分科会では「居場所」を構成する支援者と若者同士の「期待」から、「居場所」がいかなる場であるかを求められており、そうした期待に対していかなる場であり得るのかを考えていきます。

コーディネーター  
御旅屋 遥  
(東京大学)

井利 由利  
(公益社団法人若者健康センター(若者若者クラブ)/東京)

コメンテーター  
原 未来  
(東京理科大学)

### 分科会2 現実的課題と理念をつなぐ

この分科会では、それぞれの居場所が目指すもの・理念を確認しながら、現実に向き合っている運営上の諸課題の解決に向けた方策を議論し、理念・思いの実現につながる活動のあり方を考えていきます。

コーディネーター  
井口 啓太郎  
(国立市公民館/東京)

阿比留 久美  
(早稲田大学)

コメンテーター  
野中 康寛  
(社会福祉法人一関会 夏の郷/和歌山)

## 生き心地のよい多世代 共生を育む地域づくり

### 分科会7 地域の課題を仕事にする 若者の働き方・暮らし方

若者が持っている潜在的な力は、地域の課題と真正面から向き合い「はたらく」ことを通じて豊かに発揮されます。若者が学び、人間的に成長できる仕事を地域からつくり出すとはどういうことが、実践事例を通してその在り方を考えます。

コーディネーター  
志波 早苗  
(生活サポート生活協同組合/東京/東京)

中村 雄介  
(NPO法人若らづくりネットワーク北芝/大阪)

コメンテーター  
川本 健太郎  
(立正大学)

「暮らし・学び・働き」を結んで、若者が成長する地域づくりの実践とそれを通じた政策づくりを展開します。

基調講演 向谷地 生良  
(社会福祉法人湘河へてるの家/北海道)

### 分科会8 若者の学びと育ちを支える、 地域と政策づくりの展望

遊びや学びを通して、地域づくりに主体的に参加する実践、制度を活用した地域のつながりづくりの実践から、若者が主体的に学び、成長するための地域づくりの可能性と課題、ひいては政策づくりへの展望を探ります。

コーディネーター  
玉木 信博  
(労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会/長野)

竹内 佑一  
(HSIカウンスリング/大阪)

コメンテーター  
田中 夏子  
(協同組合研究家・兼・長野)

## 住まい・生活を視点として

ひきこもり・生活困窮者等の課題を、「家庭への支援」「一歩踏み出す住まいの支援」の両側面から考えます。

### 分科会3 ひきこもる家庭への支援

生活困窮支援が開始され、ひきこもりの相談機関は制度としても広がってきています。ここでは、改めてひきこもりの長期化・高齢化の背景を押さえるとともに、家庭へのアウトリーチ(訪問支援)のあり方について考えていきます。

コーディネーター  
中川 健史  
(NPO法人仕事工房ポポロ/岐阜)

コメンテーター  
川北 稔  
(愛知教育大学)

### シンポジウム

シンポジスト 湯浅 誠  
(法政大学・社会活動家)

谷口 仁史  
(NPO法人ステューデント・サポート・フェイス/佐賀)

川北 稔  
(愛知教育大学)

### 分科会4 支援の場としての「住まい」を考える

支援機関の近所への引越し、共同生活、シェアハウスの事例を参考に、若者の状態(ひきこもり・ホームレス・児童養護施設等退所後・等々)に併せた場づくり、段階的な支援のあり方、ステップアップラダー(階段)を考えていきます。

コーディネーター  
佐藤 吉行  
(NPO法人グッド/東京)

綿貫 公平  
(NPO法人文化学習協同ネットワーク/東京)

コメンテーター  
湯浅 誠  
(社会活動家・法政大学)

## 官民でひらく 若者支援

### 分科会9 自治体若者政策

さまざまな分野にまたがる各種制度をどのように組み合わせ、全体としての「若者政策」を構築していけるか。福祉、教育、雇用など専門機関の連携、官民の連携はどのように進んでいるのか。先進的・挑戦的な自治体の実践から学びます。

コーディネーター  
篠原 健太郎  
(労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会/東京)

佐藤 洋作  
(NPO法人文化学習協同ネットワーク/東京)

コメンテーター  
西岡 正次  
(A1ワーク創造館/大阪)

若者を取り巻く問題が政策課題となってようやく十年。草の根で押ってきた民間と自治体・国の施策の協同実践を検証します。

基調講演 宮本 みち子  
(放送大学)

### 分科会10 若者自立挑戦プランから13年、 若者施策の現場での展開

この分科会では、若者課題への施策にこれまでどのような役割や機能が期待され、どのようなニーズが寄せられているのかなど、現場でのローカルな到達と課題、施策の意義を確認していきます。

コーディネーター  
北川 裕士  
(労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会/東京)

藤井 智  
(NPO法人文化学習協同ネットワーク/東京)

山本 賢司  
(認定NPO法人若者上げネット/東京)

コメンテーター  
宮本 みち子  
(放送大学)

## 若者支援と 発達障害・精神障害

### 分科会11 支援現場で出会う若者たちが持つ 「特性」をどう理解するか

若者支援の現場では、さまざまな対応や判断が求められます。ここでは、支援の入り口に当たる時期に焦点をあて、「どのように見立てをおこなっているのか」「本人・家族にどう伝えているか」など、各地での実践を交えて意見交換をおこないます。

コーディネーター  
岡部 茜  
(立命館大学大学院)

朴 明生  
(NPO法人まわり/東京)

コメンテーター  
山本 耕平  
(立命館大学)

発達障害や精神障害を持つ若者たちを包摂する協同実践はどうあるべきか、各地での取り組みを交えて考えます。

基調講演 山本 耕平  
(立命館大学)

### 分科会12 様々な特性を持つ若者たちの 「次の一歩」をどう支えるか

「次の一歩」を踏み出すことに若者自身が躊躇することも少なくありません。この分科会では、若者たちの「次の一歩」へつながる活動の工夫と、地域ネットワークづくりについて、各地の実践を交えて意見交換をおこないます。

コーディネーター  
中塚 史行  
(NPO法人教育サポートセンターNIRE/東京)

永塚 賢二  
(NPO法人ゆとり/東京)

コメンテーター  
尾崎 ミオ  
(NPO法人東京若者自閉症協会/東京)

## 不登校・フリースクールを めぐる行政と民間の連携

基調講演 古庄 健  
(登校拒否・不登校問題全国連絡会/大阪)

### 分科会13 フリースクール、親の会が参画する 地域支援協議会の設置に向けて

この分科会では、「教育機会確保法」をきっかけとして捉え、不登校支援を実効性のあるものとし、子どもたちが安心して学び、休み、育つことのできる社会を実現するための官民の連携のあり方について議論します。

コーディネーター  
古庄 健  
(登校拒否・不登校問題全国連絡会/大阪)

松島 裕之  
(NPO法人フリースクール全国ネットワーク/東京)

山本 尚由  
(不登校・登校拒否を考える東京の会/東京)

コメンテーター  
横井 敏郎  
(北海道大学)

## 「若者の性」と支援の課題

### 分科会14 語られなかった性の課題に ともに向き合う

悩みを表に出せず抱え込んでしまったり、支援者の側も属人的な対応を余儀なくされたりしがちな現状がある本テーマ。今回は、「性差・性規範」「性の多様性」という2つの軸に絞り、今後の実践課題を探ります。

コーディネーター  
辻岡 秀夫  
(NPO法人ゆうふ/東京)

コメンテーター  
金子 由美子  
(「人間と性」教育研究協議会、NPO法人いたまユースサポートネット/埼玉)

## 全体シンポジウム 『協同実践』を語り合う場を創造する(仮)

若者の「生きづらさ」に向き合うさまざまな人びと(実践者)が立場や利害を越えて出会い、ともに実践を切り開いていくための手立てとその課題について、大会を通して議論されてきた3つの協同を手掛かりに探ります。

SPONSOR

- 支援者一被支援者という立場の違いを超えて、社会に向き合う者同士としてともに学び育ちあう協同
- 実践者同士が、理念や手法、分野の違いを超えて課題を共有し、ともにより良い実践を進めていくための協同
- 政策をめぐる現場の実践と制度・政策との対立を超え、ともに社会をつくっていくための協同